

令和2年度 地方独立行政法人山梨県立病院機構 業務実績評価（概要）

機構が山梨県知事に提出した業務実績報告書に基づき、評価が行われた。その概要は次のとおりである。

< 全体評価 >

- ・総評として、令和2年度における中期計画の実施状況は優れていると評価する。

< 項目別評価（40項目）>

評 価	評価項目数		
	R 1	R 2	増減
特に優れている	S	13	17
優れている	A	21	18
順調である	B	6	5
劣っている	C	0	0
著しく劣っており、大幅な改善が必要	D	0	0

○ 実施状況が特に優れていると評価された項目（評価S）及び評価理由

① (1) 救命救急医療

高度救命救急センターとして、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを負いながらも、使命感を持って高度で専門的な救急医療を提供している。

病院外心肺停止症例における社会復帰率が向上した。

また、精神身体合併症病棟の活用や二次救急処置室の再整備などによる救急患者受け入れ体制の拡充は、県民の安心感にもつながるもの。

② (2) 総合周産期母子医療

総合周産期母子医療センターとして、全てのハイリスク妊婦を受け入れて高度で専門的な医療を提供している。また、他の分娩取扱機関と連携を図りながら、多くの母体救急搬送や新生児を受け入れた。

③ (3) がん医療

外来化学療法の充実やキャンサーボードの充実に努めるなど、がん患者の状態や意向を踏まえた適切な治療を行い、がん医療の質の向上が図られている。また、低侵襲手術支援ロボットを活用した手術件数や通院加療がんセンターの患者数が増加した。

また、ゲノム解析に基づく最先端の医療を提供している。

④ (7) 感染症医療

新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受け、設備、治療・看護体制、検査体制を整えるとともに、県内の流行状況等に迅速に対応して必要な病床を確保し、外来診療や重症患者の治療などに使命感をもって懸命に取り組んでいる。

⑤ (8) 精神科救急・急性期医療

県の精神科救急医療の中核として、24時間体制で患者を積極的に受け入れており、

多職種の関わりにより、治療、退院促進、退院後のリハビリテーション等、総合的で一貫した医療が行われている。

また、入院患者への集中治療や退院支援により、平均在院日数が短縮した。

⑥ (9) 児童思春期精神科医療

県内唯一の児童思春期病棟を持つ病院として手厚い職員体制を確保し、高度で専門的な医療を提供するとともに、受け入れ体制の強化を図り、平均在院日数が短縮し、延べ入院患者数・外来患者数が増加した。

また、家族支援プログラムの受講者も増加しており、成果を挙げている。

⑦ (15) 医療の標準化と最適な医療の提供

中央病院はDPC医療機関群の中でも評価の高い特定病院群の位置づけを保つとともに、機能評価係数が上昇するなど、取り組みを強化している。

クリニカルパスの専門部署の設置や専従職員の配置等、クリニカルパスの新設や見直しに積極的に取り組んでいる。

⑧ (16) 質の高い看護の提供

パートナーシップ・ナーシング・システムの定着、教育機関との連携、柔軟な働き方、キャリアアップ支援など、看護師の確保定着、人材育成に向け様々な取り組みを積極的に実施し、全国と比べて非常に低い離職率となっている。

また、夜間における看護サービスの向上や看護業務の負担軽減に取り組んでいる。

⑨ (18) 医療安全・感染症対策の推進

医療安全対策のための会議や医療安全研修などを積極的に開催し、誤投薬に係る重大インシデントの減少などの成果を挙げている。

また、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のための各種取り組みにより、診療の中止や縮小をすることなく病院機能を維持した。

⑩ (24) 医療に関する調査及び研究

治験や臨床研究、製造販売後調査を継続して積極的に行っている。

また、新型コロナウイルスに係る英語論文等を多数投稿するなど、研究活動を積極的に行い、成果を挙げている。

⑪ (25) 医療従事者の研修の充実

初期臨床研修・専門研修プログラムの充実や資格取得支援に積極的に取り組み、認定看護師が増加するなど、医療従事者の育成確保や資質向上に取り組んでいる。

⑫ (26) 職場環境の整備

医療従事者の業務負担軽減のため、医師事務作業補助者の増員や看護職員の夜間配置の充実などに積極的に取り組んだ。

また、業務量の平準化や勤務体制・環境の改善に取り組み、職員の年次有給休暇取得日数が大幅に増加した。

⑬ (27) 地域医療機関との協力体制の強化

地域医療支援病院として、病病連携・病診連携の強化に取り組み、紹介率・逆紹介率が高水準を維持している。

また、新型コロナウイルス感染症抑制のための地域協力として、甲府市医師会向けP

C R 検査研修を実施するなど、地域の関係機関に積極的に協力している。

⑯ (31) 災害時における医療救護

新型コロナウイルス感染症への対応として、県の医療対策本部やクラスターが発生した医療機関に D M A T を派遣するとともに、感染が拡大した沖縄県に看護師を派遣するなど、基幹災害拠点病院として積極的に医療救護活動を行っている。

また、新たに災害対策担当看護師として専任看護師を配置するなど、災害対策のための体制整備を進めた。

⑰ (33) 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減

診療報酬の迅速かつ適正な算定や未収金削減のため、様々な取り組みを行い、収入確保に努め、年度末未収金残高が大きく減少した。

また、既存薬適正価格購入委員会を設置し、後発医薬品の積極的な採用など、薬品費の削減に努めるとともに、診療材料の共同購入の拡大など経費削減に努め、成果を挙げた。

⑱ (36) 予算、収支計画及び資金計画

新型コロナウイルス感染症に感染した患者の診療を行いながら病院機能を維持し、年度計画で想定した額を上回る経常利益、純利益を達成しており、良好な財務内容を維持した。

⑲ (37) 保健医療行政への協力

新型コロナウイルス重点医療機関として、病床の確保や患者の受け入れ、県医療対策本部への D M A T の派遣、感染症専門医師・看護師の他医療機関への派遣など、懸命な取り組みを行った。

二次救急当番日数の増加や初期救急患者の緊急避難的な受け入れなど、県の基幹病院としての役割を果たしている。

また、後発医薬品の規格単位数量割合が県立中央病院で85%以上、県立北病院で80%以上を維持してしている中期計画を大きく上回っている。

令和2年度業務実績報告評価一覧表

中期計画の項目			第1期目標期間					第2期中期目標期間					第3期					
	No.		H22 評価	H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価	R2 評価					
(1) 政策医療の提供	1	ア 救命救急医療	A	A	S	S	S	S	S	S	S	S	S					
	2	イ 総合周産期母子医療	A	A	A	A	A	A	S	S	S	S	S					
	3	ウ がん医療	A	A	A	A	S	S	S	S	S	S	A					
	4	エ 循環器病医療	△															
	5	オ 難病 (特定疾患) 医療	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A					
	6	カ エイズ医療	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A					
	7	キ 感染症医療	B	B	B	A→B	A	S	S	S	S	S	S					
	8	ア 精神科救急・急性期医療	B	B	B	A	S	S	S	S	S	S	S					
	9	イ 児童思春期精神科医療	B	B	B	A	A	A	S	S	S	S	S					
	10	ウ 心神喪失者等医療調査法に基づく医療	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A					
	11	エ 重度・慢性入院患者への医療	△															
	12	オ 重症通院患者への医療	△															
	13	カ 依存症患者への医療	△															
	14	キ 認知症患者への医療	△															
(2) 質の高い医療の提供	15	①医療の標準化と最適な医療の提供	A	A	S	S	S	S	S	S	S	S	S					
	16	②質の高い看護の提供（～7対1看護体制への柔軟な対応）	B	A	A	A	A	S	A	S	S	S	S					
	17	③病院施設の修繕、医療機器等の整備	B	B	B	A	△											
	18	①医療安全・感染症対策の推進	B	B	B	B	△											
	19	②医療倫理の確立	B	B	B	B	△											
	20	③患者・家族との信頼・協力関係の構築	B	B	B	B	△											
	21	④医薬品の安心、安全な提供	B	B	B	A	△											
	22	⑤患者サービスの向上	A→B	A→B	A→B	A	△											
	23	⑥診療情報の適切な管理	B	B	B	A	△											
	24	2 医療に関する調査及び研究	A	A	A	A	S	S	S	S	S	S	S	S				
	25	(1) 医療従事者の研修の充実	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	S				
	26	(2) 職場環境の整備	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	S				
	27	(1) 地域医療機関との協力体制の強化	B	B	B	A	A	S	S	S	S	S	S	S				
(3) 県民に信頼される医療の提供	28	(2) 地域の医師不足の解消に対する支援（～地域医療への支援）	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B				
	29	(3) 県内の医療水準の向上	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B				
	30	(4) 地域社会への協力	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A				
	31	5 災害時における医療救援	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	S				
	32	1 医療環境の変化に対応できる運営体制の構築	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
	33	2 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減	A	B	A→B	A	A	S	S	S	S	S	S	S				
	34	(効果的な業務運営の実現) 33に統合	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B				
	35	3 事務部門の専門性の向上	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
	36	4 職員の経営参画意識の向上	S	S	S	S→A	S	S	S	S	S	S	S	S				
	37	5 予算、収支計画、資金計画、短期借入金の限度額	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	S				
	38	1 保健医療行政への協力	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B				
	39	2 法令・社会規範の遵守	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B				
	40	3 積極的な情報公開	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
		4 業務運営並びに財務及び会計に関する規則第7条で定める事項	△															
(4) 医療に関するサービスの質の向上に関する事項																		

R1評価委員会の評価との比較

評価A	…当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている
評価B	…当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている
評価C	…当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
評価D	…当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている

評価S…当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている
 評価A…当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている
 新たな評価項目 → A 3
 評価B…当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
 評価C…当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている
 評価D…当該事業年度における中期計画の実施状況が著しく劣っており、大幅な改善が必要

S	A	B	C	D	計
H22	2	11	27	1	0
H23	2	9	30	0	0
H24	4	8	29	0	0
H25	4	14	23	0	0
H26	8	18	15	0	0
H27	12	15	13	0	0
H28	13	16	11	0	0
H29	13	17	9	1	0
H30	13	17	10	0	0
R1	13	21	6	0	0
R2	17	18	5	0	0
	4	△3	△1	0	0
	増減				0
					40
					第3期